

[インデックスに戻る](#)

## 1. 方程式と不等式

### 1-1. 式の計算

#### 1-1-1. 多項式の加法と減法

##### 1-1-1-1. 単項式と多項式

2、 $x$ 、 $3a$ 、 $(-2)x^2a$  などのように、**数や文字およびそれらの積だけで作られる式を単項式**という。単項式では、かけられている文字や数のうち**数の部分をその単項式の係数**といい、かけてある**文字の個数をその単項式の次数**という。数だけの単項式の次数を**0**とみなすことがある。その場合、数**0**だけの単項式**0**の次数は考えない。

例

- $3x$  の係数は3、次数は1である。
- $-3x^2y$  の係数は-3、次数は3 ( $x$ 、 $x$ 、 $y$  の3個の文字がかけられている) である。

単項式が2種類以上の文字を含むとき、それらのうち特定の文字に着目して、次数・係数を考えることがある。この場合、残りの文字は数と同じように扱い、次数を考えるときには数えないし、係数に含める。

例

- $4abx^4$  について
  - $x$  に着目すると、次数は4、係数は  $4ab$
  - $a$  に着目すると、次数は1、係数  $4bx^4$
  - $a$  と  $b$  に着目すると、次数は2、係数は  $4x^4$

$3x^2 + (-5x) + (-1)$  のように、**単項式の和として表される式を多項式**といい、その**1つ1つの単項式を、この多項式の項**という。

$5x^4 - 3x - 2$  は  $5x^4 + (-3x) + (-2)$  と表すことができるので多項式である。なお、普通、単項式は多項式に含まれるものとする。多項式のことを**整式**ということもある。

[インデックスに戻る](#)